


# 雨の庭

潮だまり







植木屋さん



綺麗だね。

寝所にも飾りたいくらいだ。



一応…  
雇い主ですから

ははは



寝てなくていいんですか。

おや…  
心配してくれるのかい。



ありがとうございます。  
ございます。

後で花瓶に入れて…

近くで見たい。

それを持って来ておくれ。今。



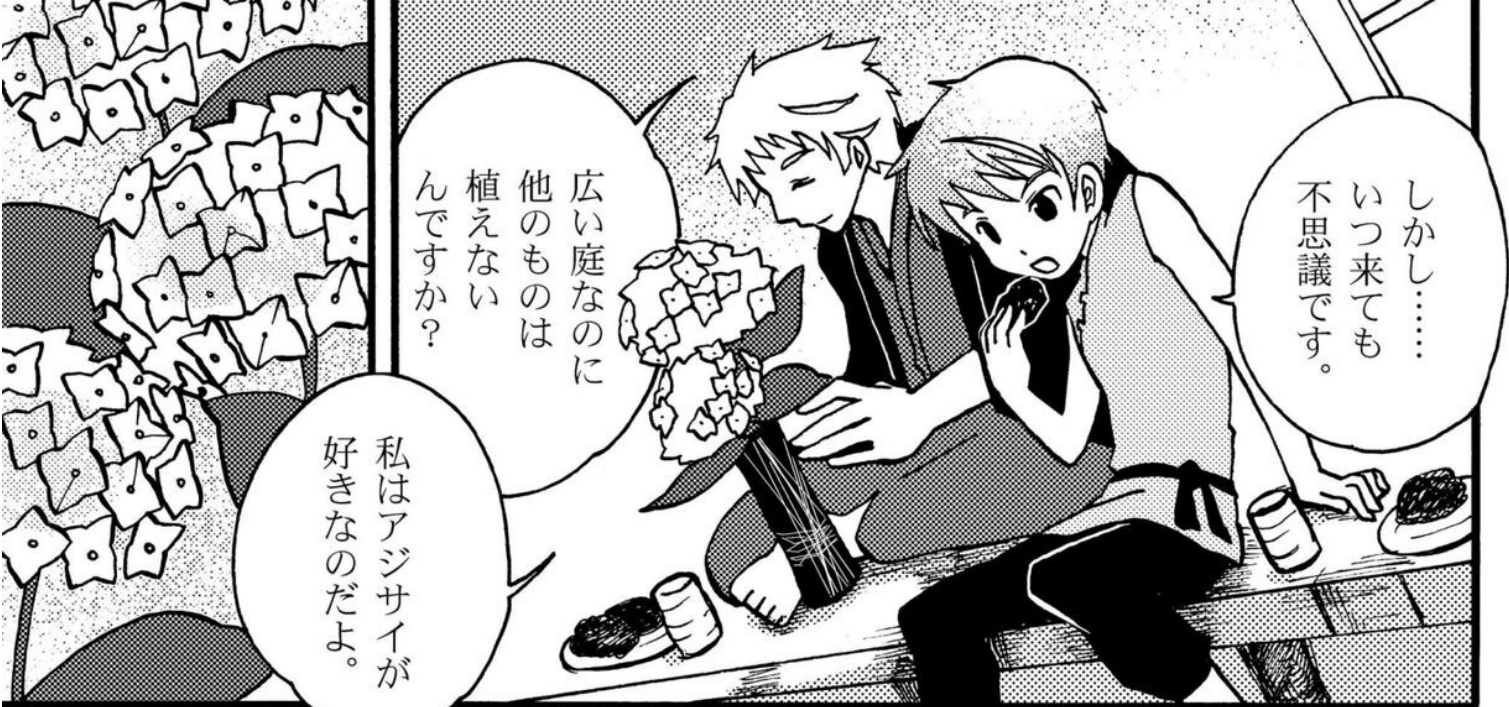
お茶が入りましたよ。

ありがとうございます。  
ございます。

ゆっくりしておゆき。



ははは  
噛みついたりしないよ。



しかし……  
いつ来ても  
不思議です。

広い庭なのに  
他のものは  
植えない  
んですか？

私はアジサイが  
好きなのだよ。



じいちゃんも  
みんな  
ロウ様は  
変態だって  
言っていました。  
お前……  
雇われてる気  
ないだろ。



……  
ロウ様……  
!?



断ったじゃないですか!!

ご・ご・ごー  
のは……!!



ぎゃああゝ!!  
何するんですか!?

ついてたから口元に。



うん…  
こっぴどく

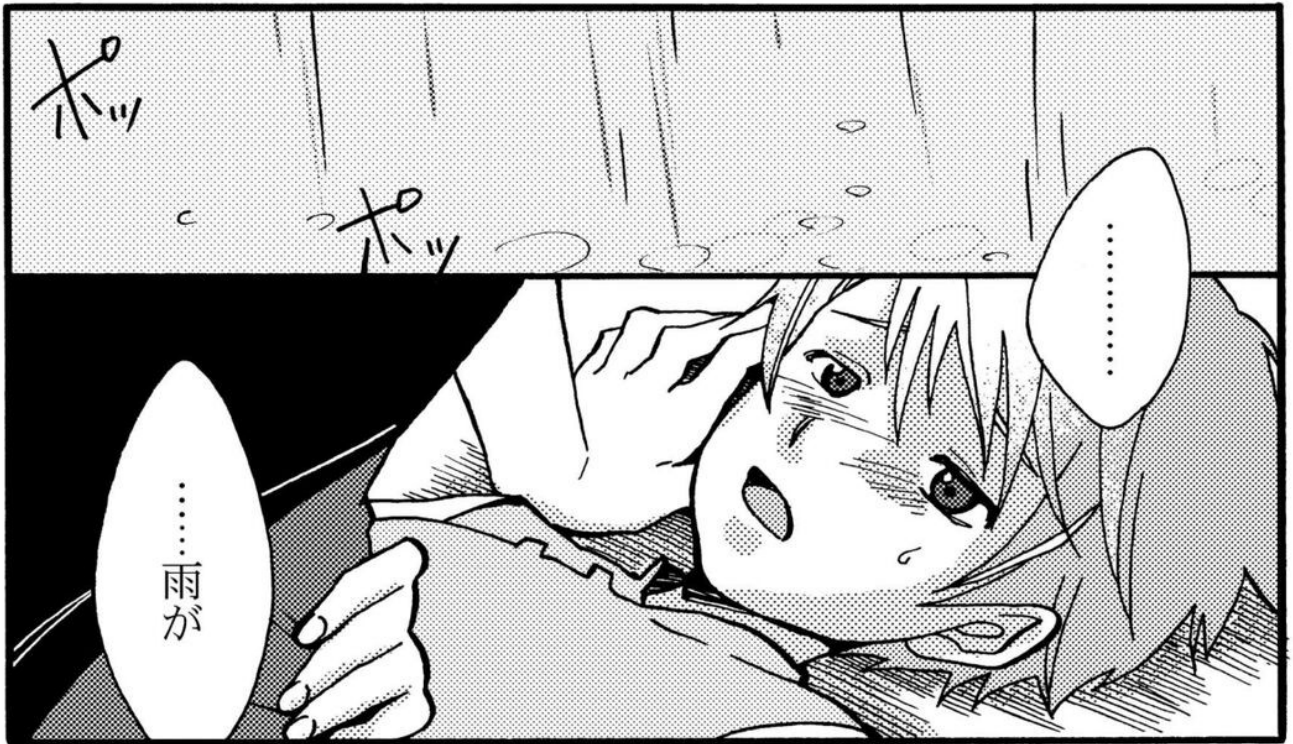
じゃあ!  
なんで…!?

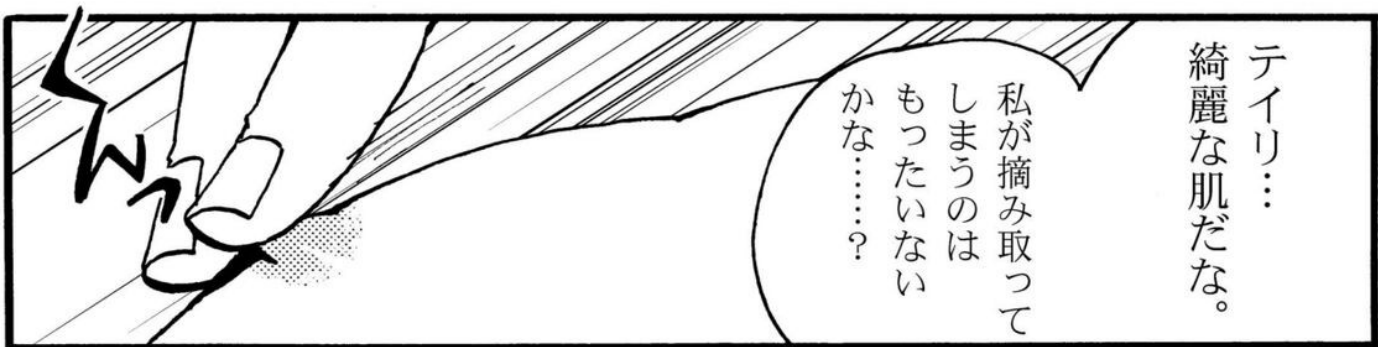
スキー  
大好き  
え? ホモ?  
キモイ  
やだ!!



人の気持ちは  
変化しやすい…

花の様  
だからね。





テイリ…  
綺麗な肌だな。

私が摘み取って  
しまふのは  
もつたいない  
かな……？





花からとった  
媚薬だよ。

なに…？

お前を気持ちよく  
してくれる…

や

あ

アは…ッ



はは……  
気に入った  
みたいだね。





くちゅか  
ちゅ  
ひ

そんな……ッ

なんたん

だめ……ッ

あッ

んんんんん

ぐんぐん



!?!  
…手が!!

びる

アはッ



届かない  
……ッ!!

ビク  
ビク  
ビク

ビク

!?!  
ひん  
ビク  
ビク

おん  
んんん

あ

あ

うあ



ウソ…!!  
気持ち  
いいの……!?

おしり  
弄られて…

ア



なんで  
こんなところが  
熱いの…!!

でも…っ  
これじゃ…

びびっ  
っ



いけな…ッ

前も…!!

ない…

前も……  
ちゃんと…



カッ  
アッ  
ん

カッ  
カッ  
カッ

カッ

カッ

カッ  
カッ

ん  
う

カッ  
カッ  
カッ

あ  
ア

カッ  
カッ

カッ  
カッ

カッ  
カッ  
カッ  
カッ  
カッ  
カッ



こんなの……!!  
葉のせいだ……!!



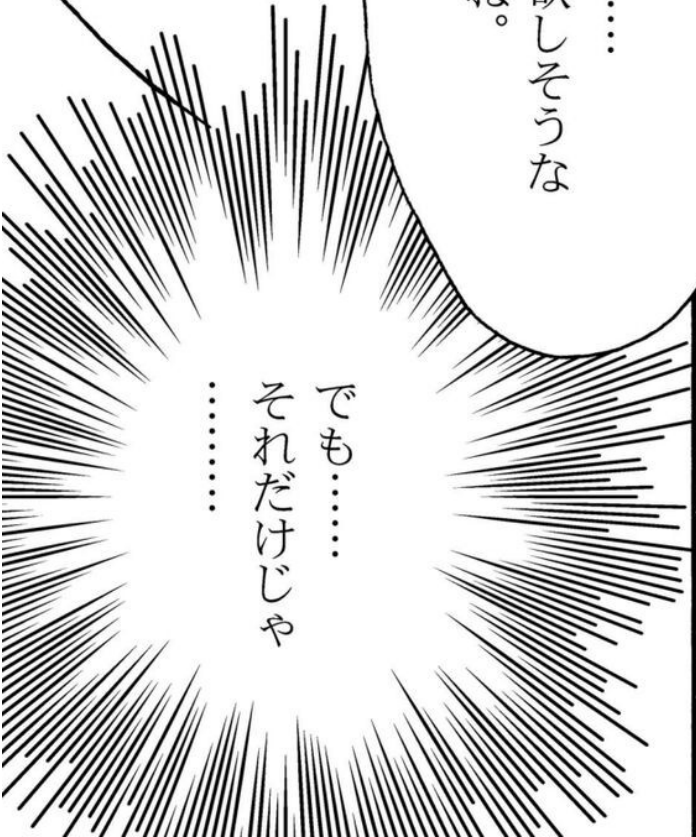
わんわん

ほあ  
ほあ

まだ……  
して欲しそうな  
顔だね。



ほあ  
ほあ



でも……  
それだけじゃ  
……



こんなに  
ドキドキするのは  
……!!





熱いな…っ  
お前の中は…!!

……テイリ!!  
気持ちいいよ

んう

う



やだ……!!  
ロウ様の…っ

止まん  
ない…  
…ッ!!



ああ…あ

やん

アッ

ズン  
ズン

水  
びしょ濡い



あ

オレのも  
……ツ!!

あ

やだ…

ズ  
ズ

ズ  
ズ

ひん…  
ツ

びしょ濡い  
びしょ濡い

あ……っ!!  
…ウさま…ッ  
ロウさ…あ!!

ド

ドッ

ろウさま…!!

ドッ  
ドッ  
ドッ

あ…





そんなに  
悪いんですか？

グズッ



いいえ。

……  
そう  
見えるかい？



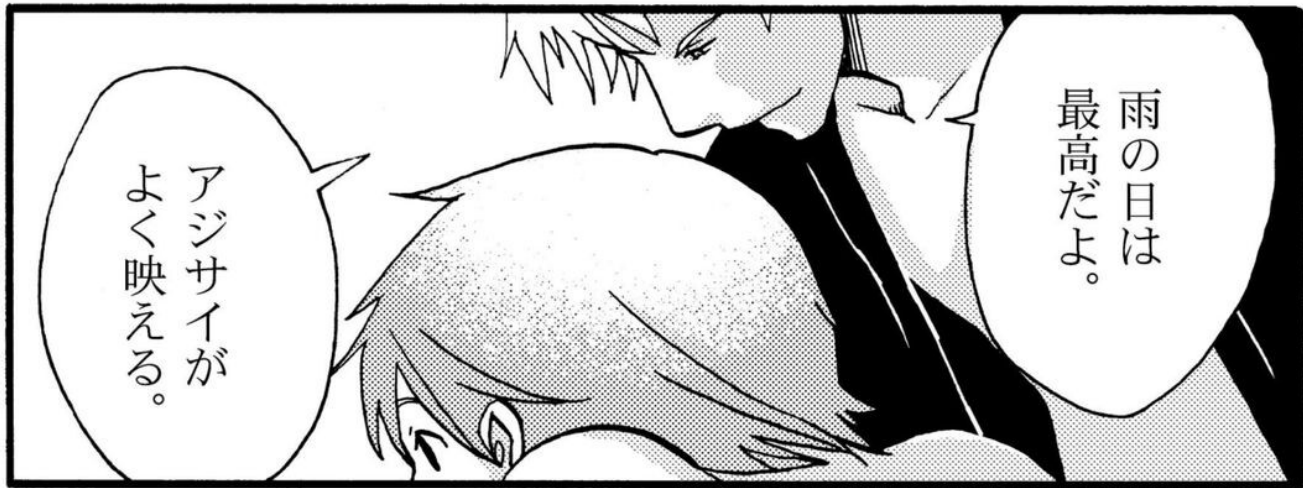
ロウ様は……  
外に出られたこと  
ないんですか？

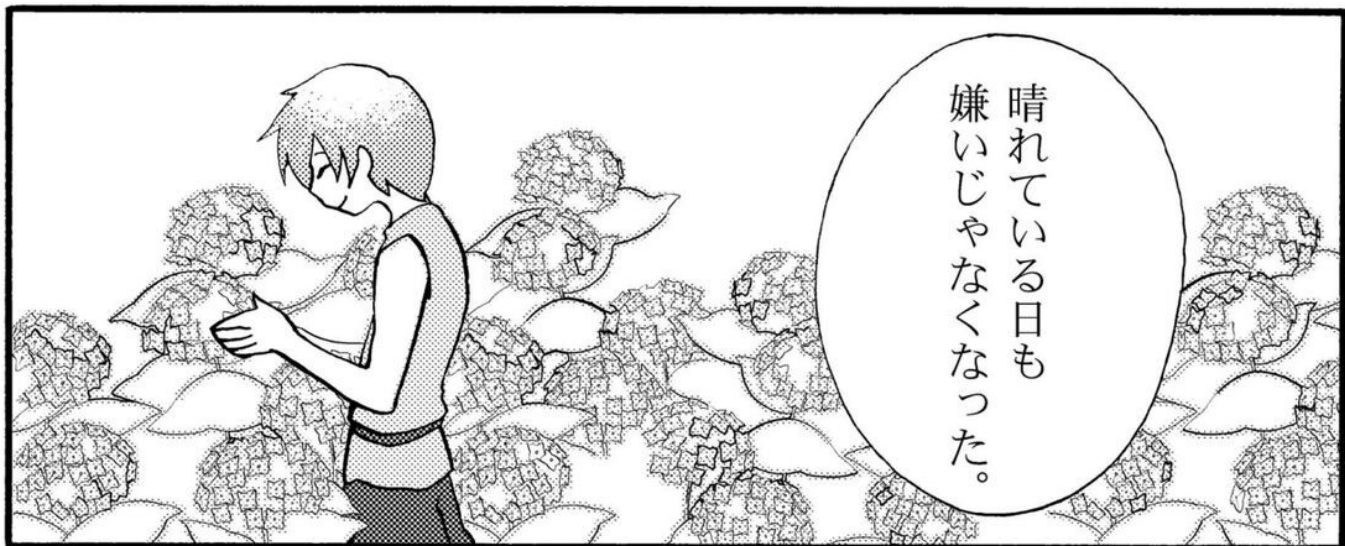
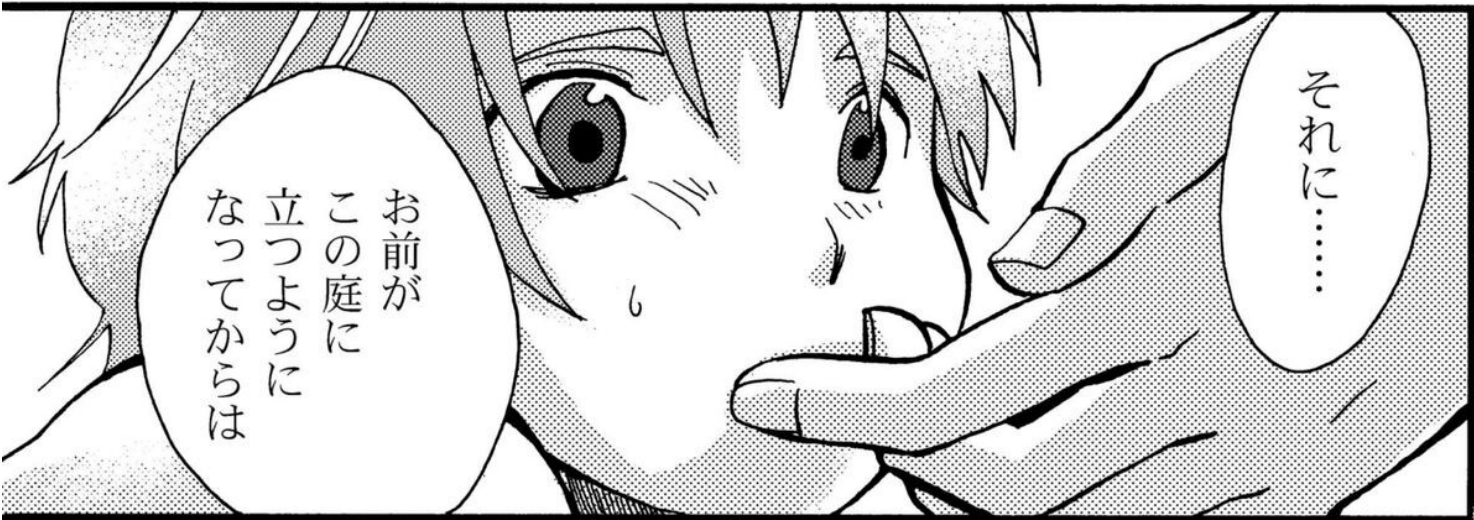


……それは  
良かった。

街を見たい  
願っても  
そろそろ  
叶いそうだ。

！







一緒に  
市場に行き  
ましょう。



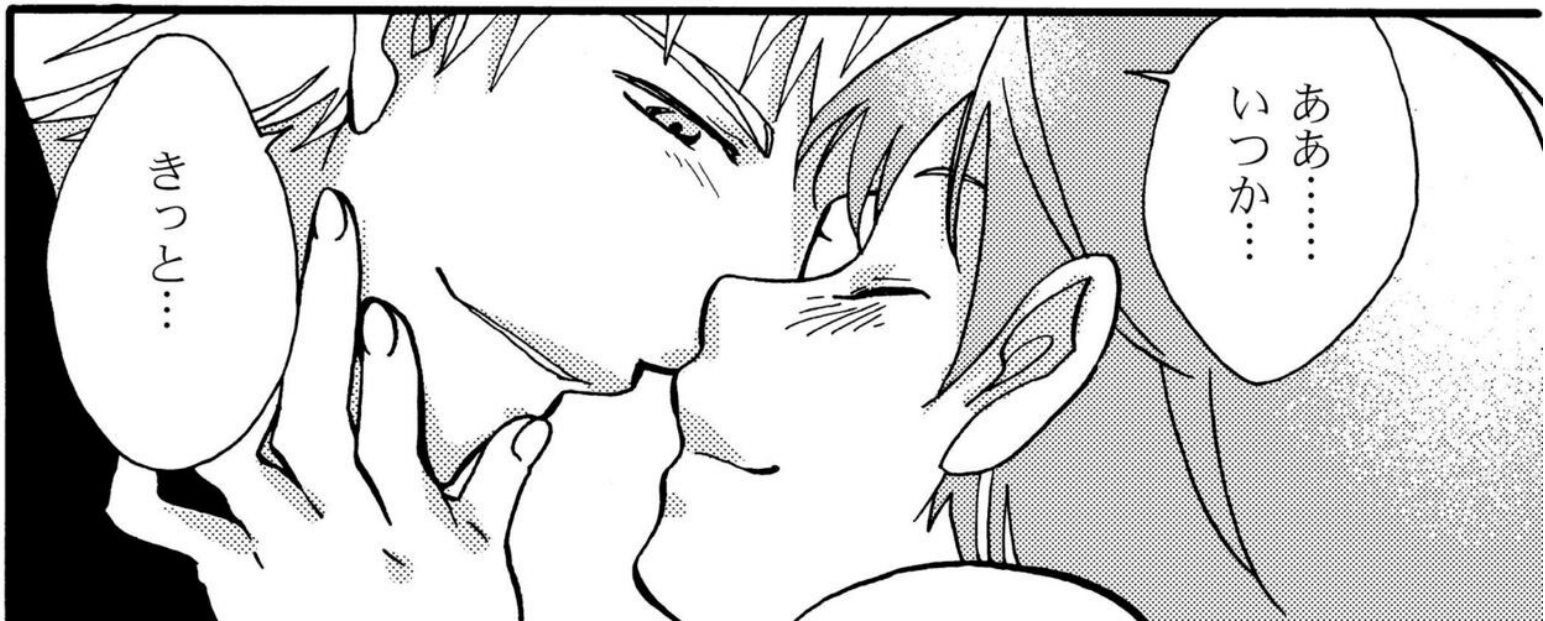
ロウ様!!

いつか...



市で  
花を買って  
.....

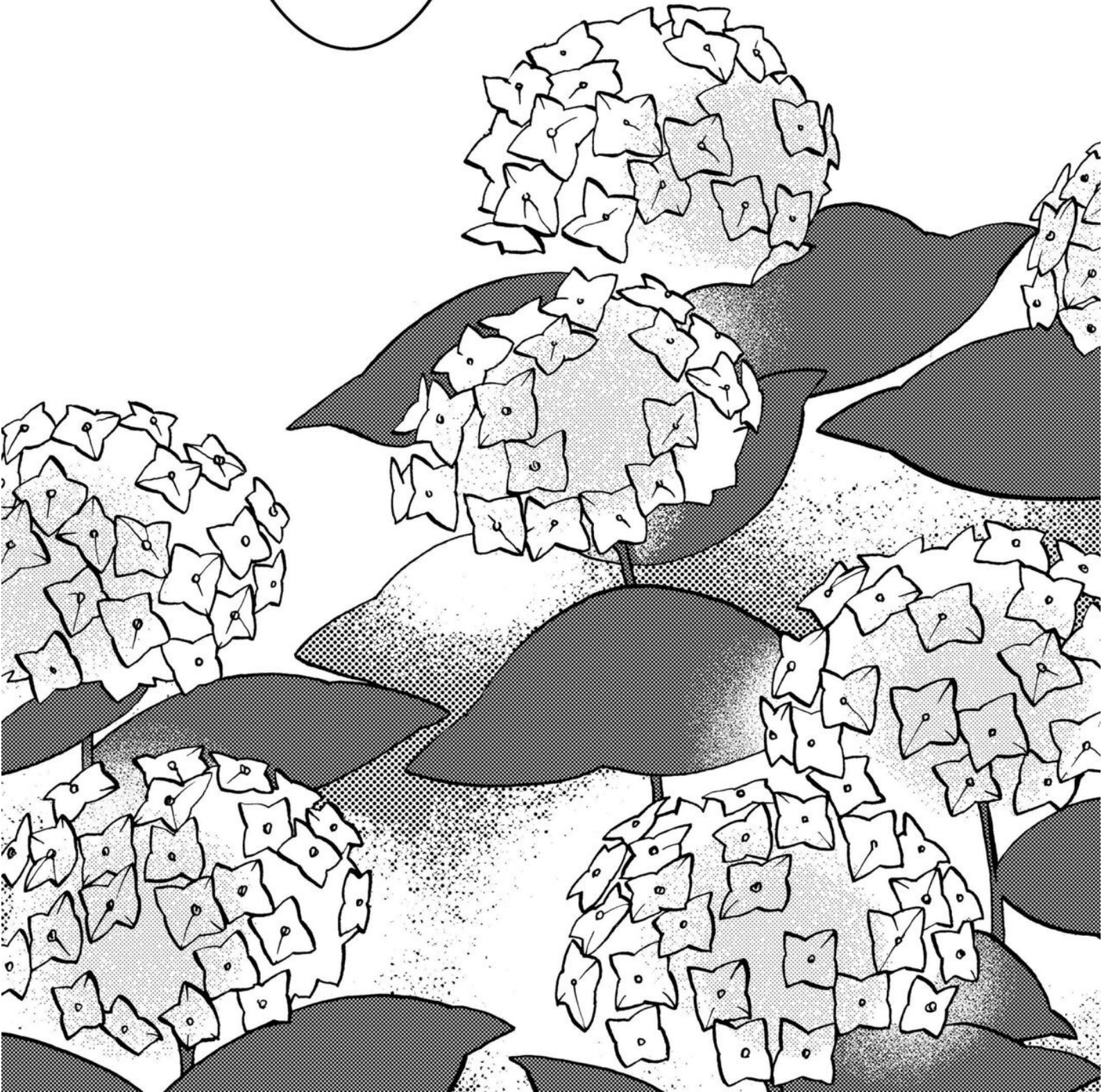
一緒に  
庭に植え  
ましょう。



ああ.....  
いつか...

きつと...

ふたりで……





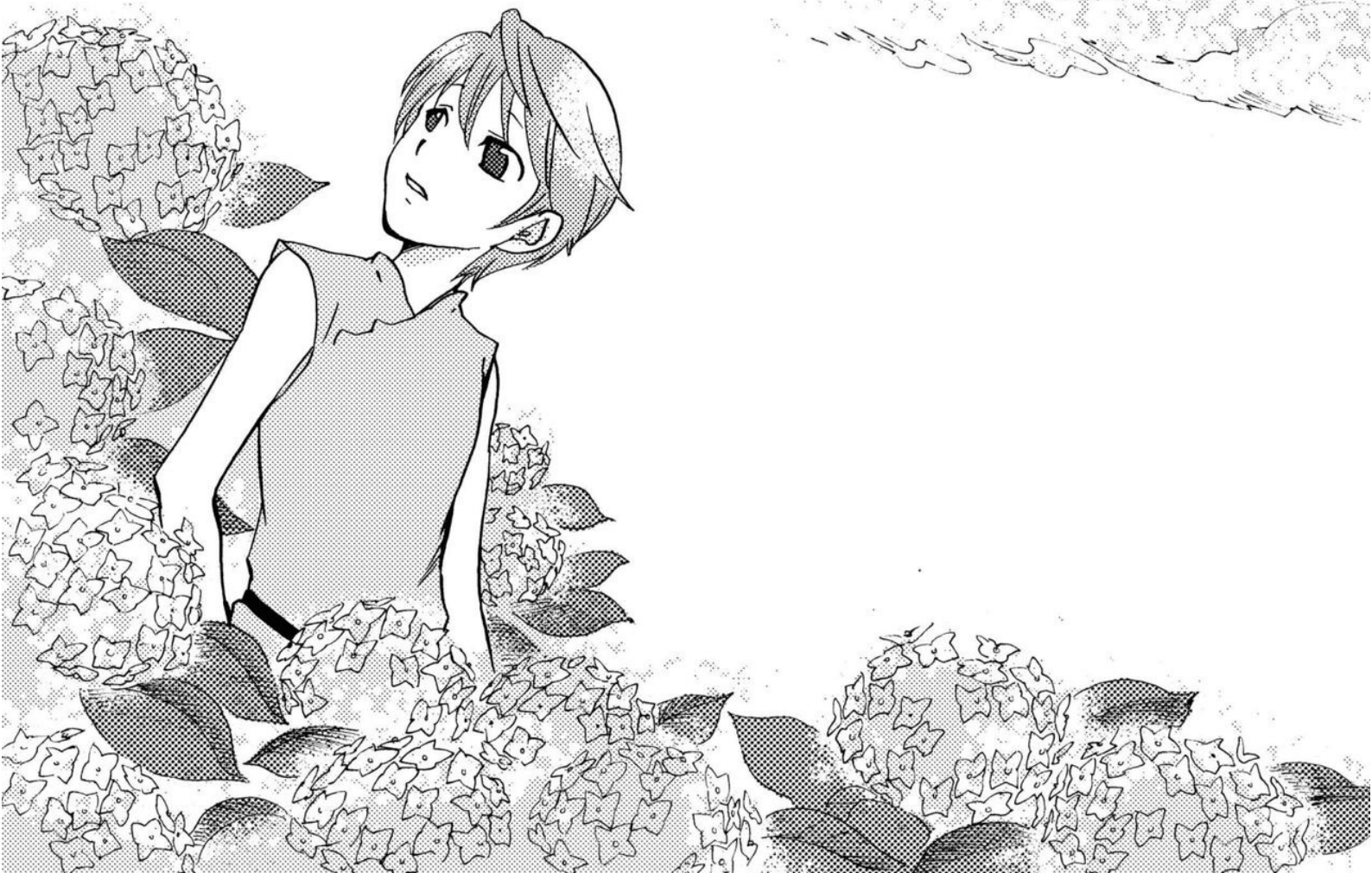
# 雨の庭

潮だまり

夏のはじめ

主人は体調を  
くずした

屋敷に咲く  
アジサイが  
季節を終える…





昨日は  
体調が良くて  
庭に出て  
あなたのことばかり  
話していたんですよ



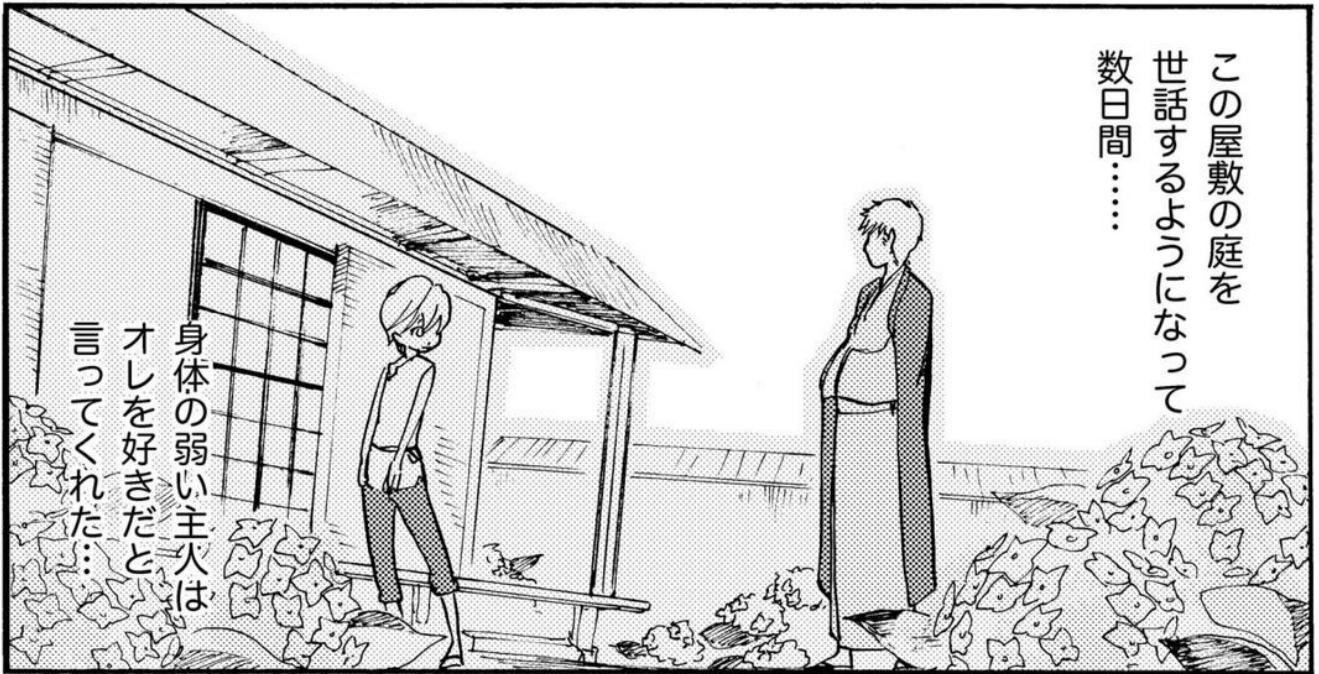
毎日こんな  
おばあさん相手じゃ  
つまらない  
でしょう

そんなこと  
ありませんよ

だんな様が  
早く元気に  
なると良い  
んだけど…



ごめん  
なさいね



この屋敷の庭を  
世話するようになって  
数日間…

身体の弱い主人は  
オシを好きだと  
言ってくれた…



人の気持ちは  
変化しやすい  
花のようだからね

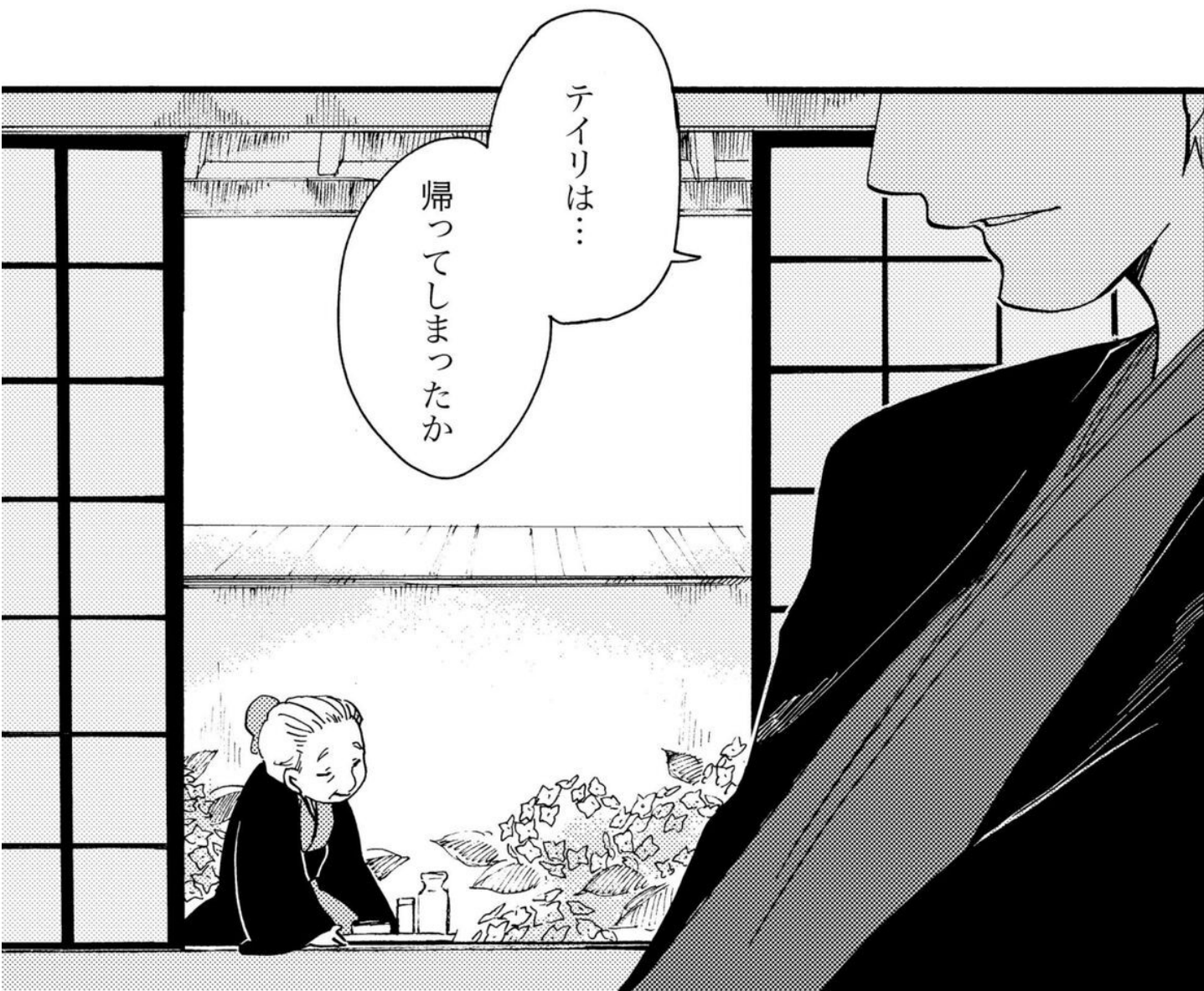
その言葉  
どつり

心はあっと  
いう間に  
色を変えた



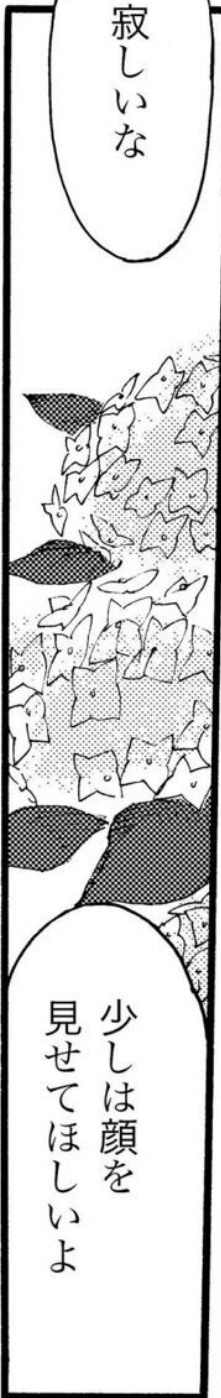
最初は男なんて  
嫌だ…とつっぱねて  
いたのに…

彼の色に  
変わってしまった





気を使つて  
いるんですよ



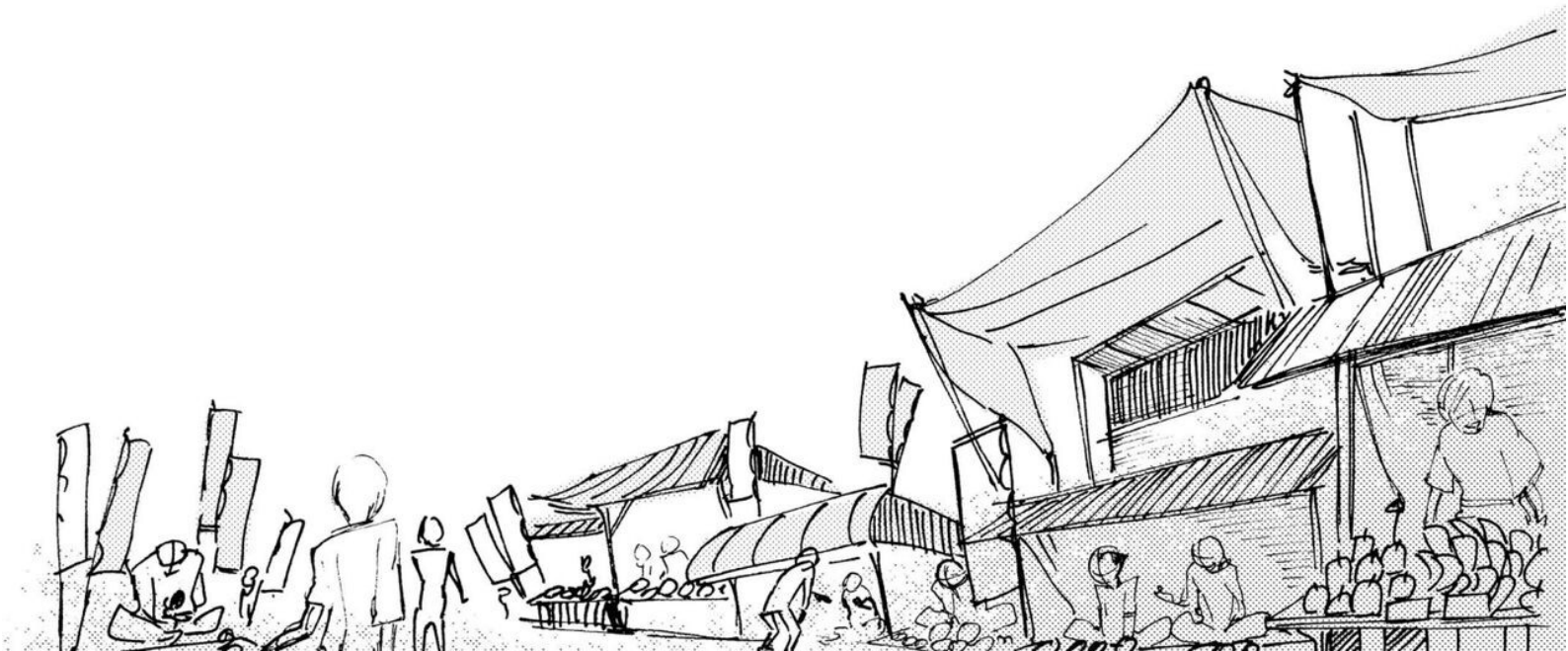
寂しいな

少しは顔を  
見せてほしいよ



ええ

ロウ様のお体に  
障つてはいけないと





良い花が入ったぜ！  
どうだい！！



体調良いから  
って言っても  
起きて来られ  
ないんじゃないかな…

咳が出るだけって  
言ってたのにな

おう！  
テイリ！！



わあ！  
綺麗だね

おうよ！  
オレが愛情込めて  
育てたんだからな

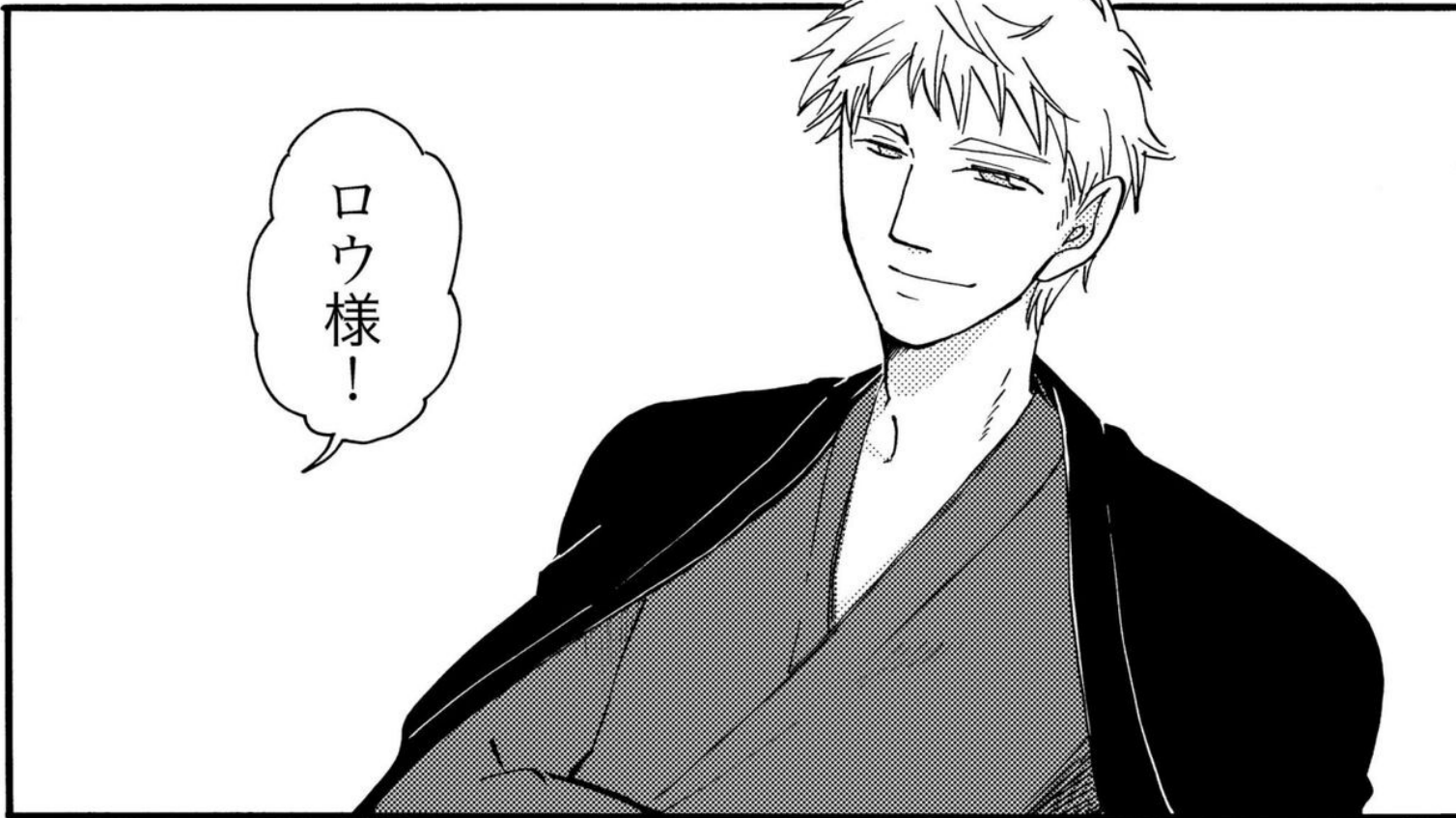


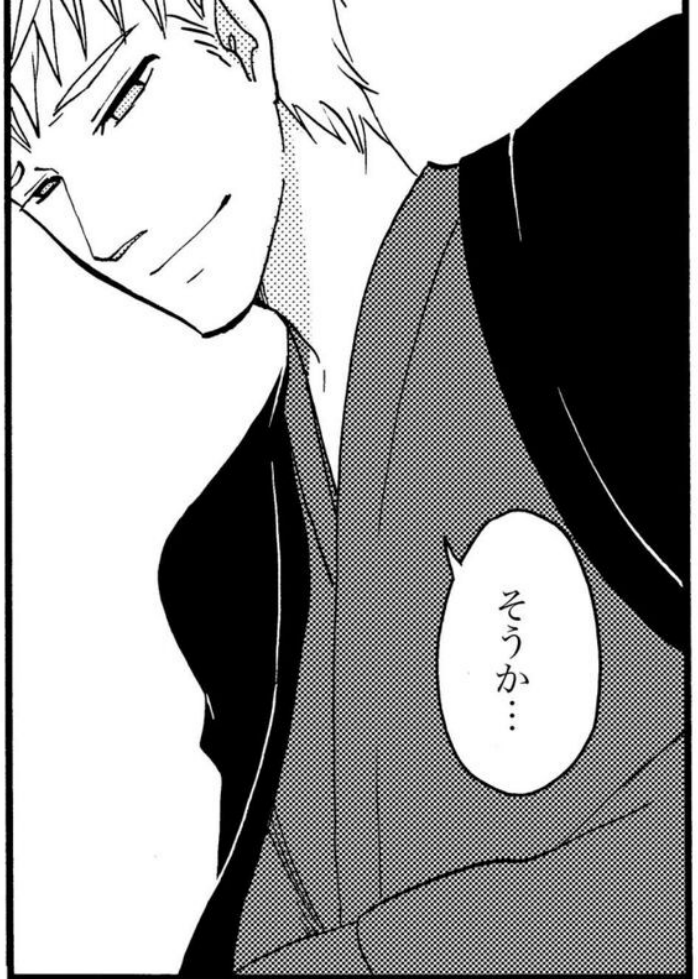
これちよーだい！！



そっだ…  
新しい花植えて  
ロウ様に  
元気出してもらお

どーだい？







満開になった庭が  
雨に濡れた日…

季節はコウ様に  
染められた



庭の花が咲く頃  
屋敷の行くのが  
毎日楽しくなった

彼に会えるのが  
嬉しかった



しかし……  
夏を前に彼は  
具合を悪くした

久しぶりに  
声聞いたな…

テイリ…

スプツ

スプツ

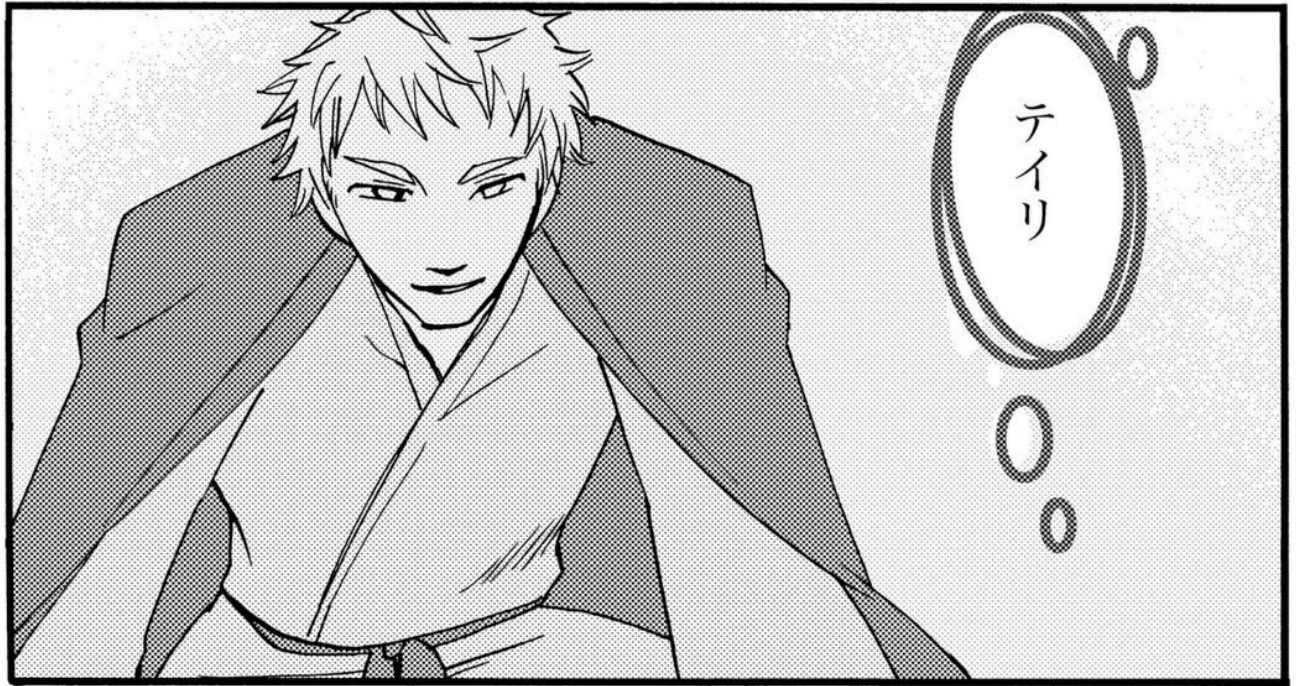


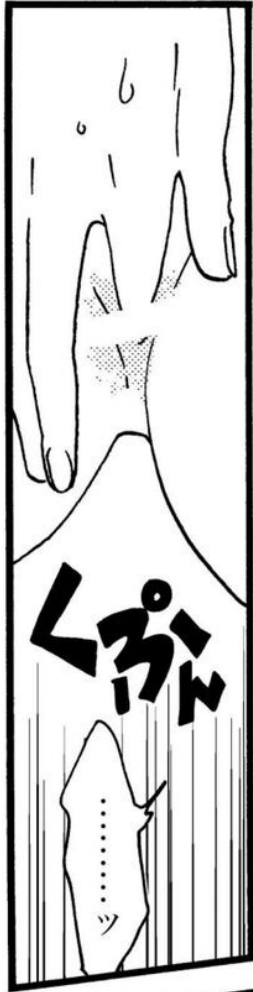
…ダメだ  
こんなこと

……っ

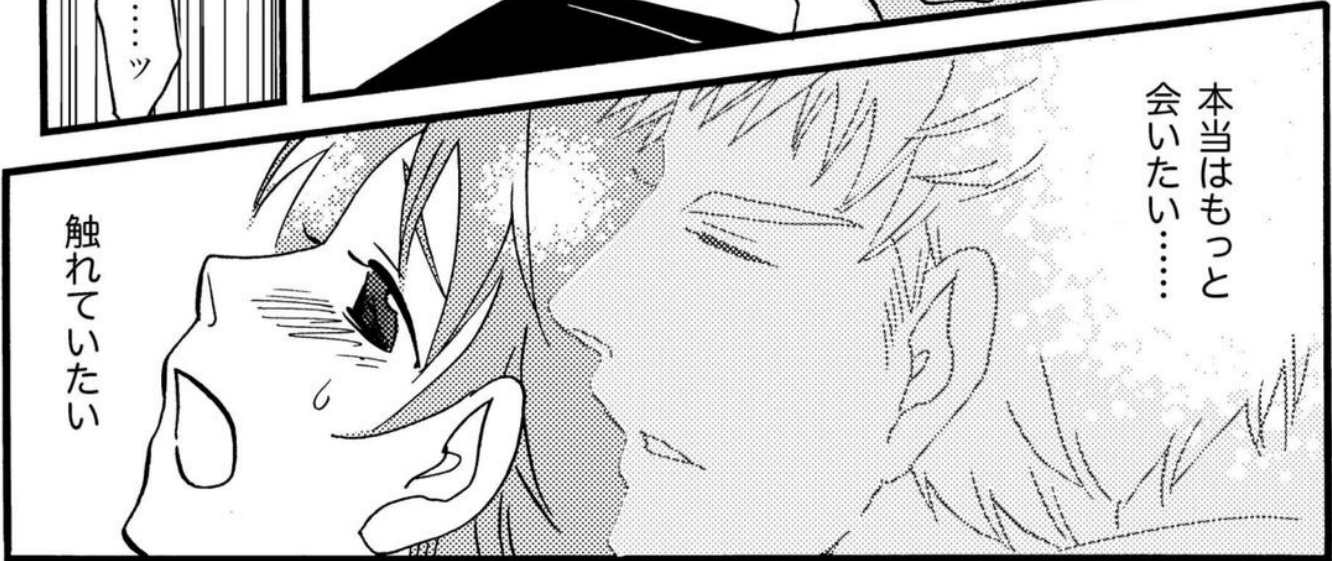


スプツ





本当は…  
あの人の声を  
もっと聞いていたい



本当はもっと  
会いたい……

触れていたい



想像で…  
こんなこと  
するなんて

オレみたいなの  
やらしい奴：  
ロウ様は嫌いかも  
知れない

飽きたのかも  
知れない

ひっ

く

ぽんぽん



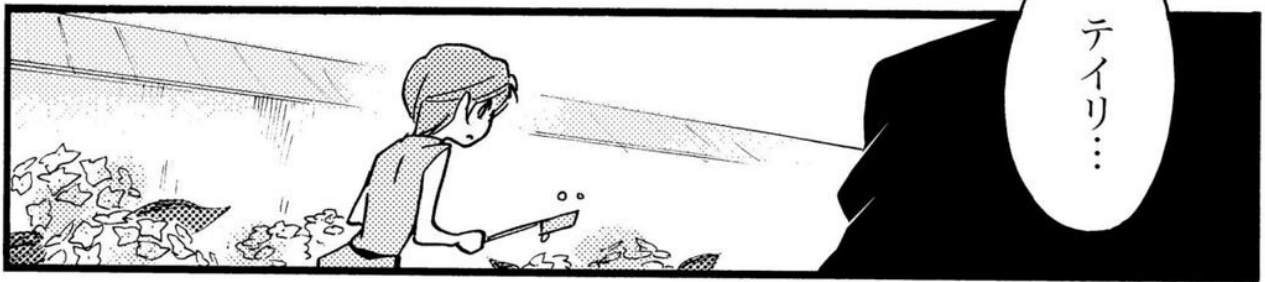
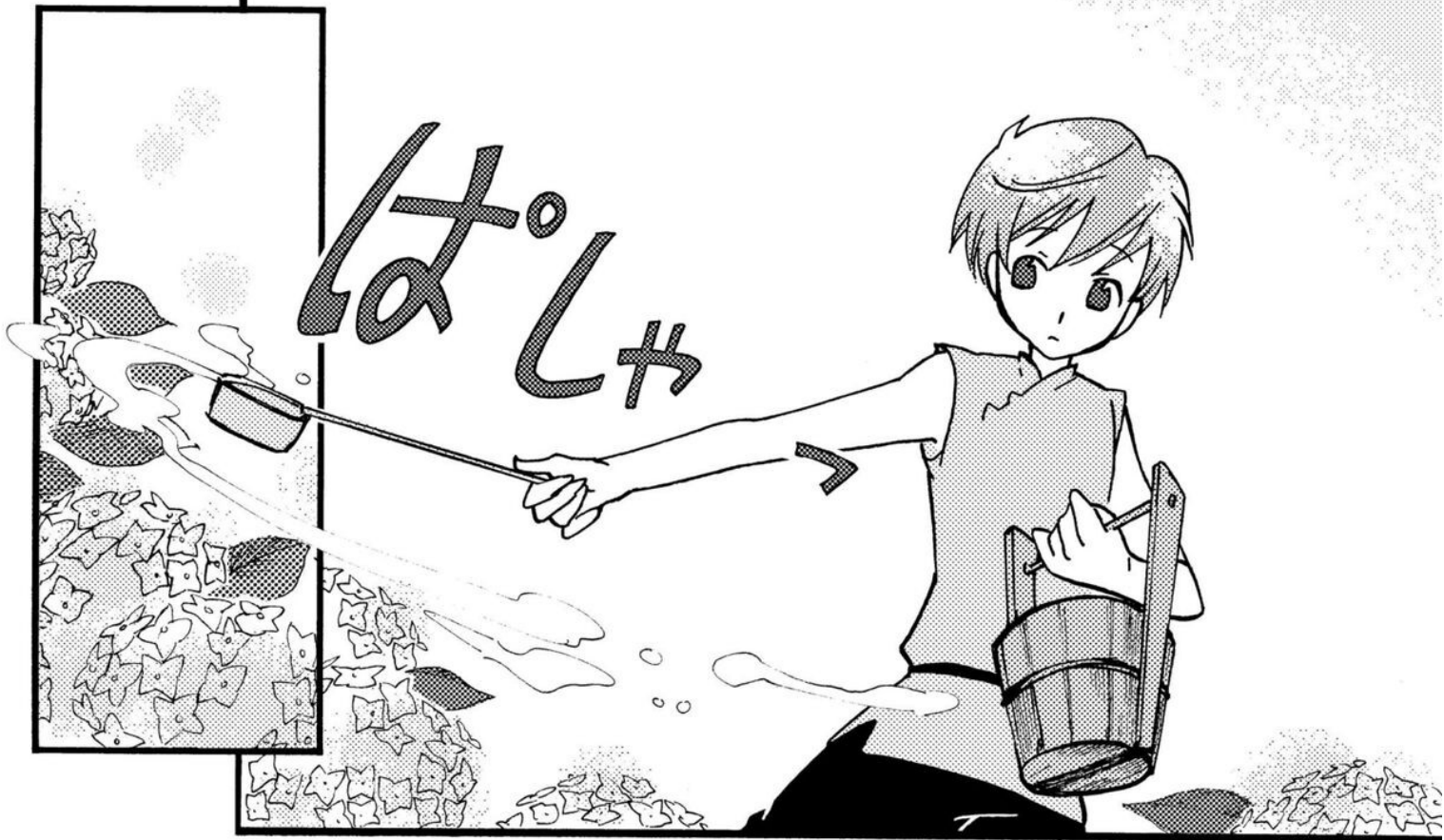
………ロウ様

心は花の色の様に  
変わりやすい……

ロウ様……っ

だから  
迷惑だらけ  
……？  
だからあんな  
困った顔を……







すみません…

オレ……  
余計なことした  
下手くそなくせに



ああ…  
あの花は  
退けておいて  
くれないか



?  
どうし  
たんだ?  
テイリ…

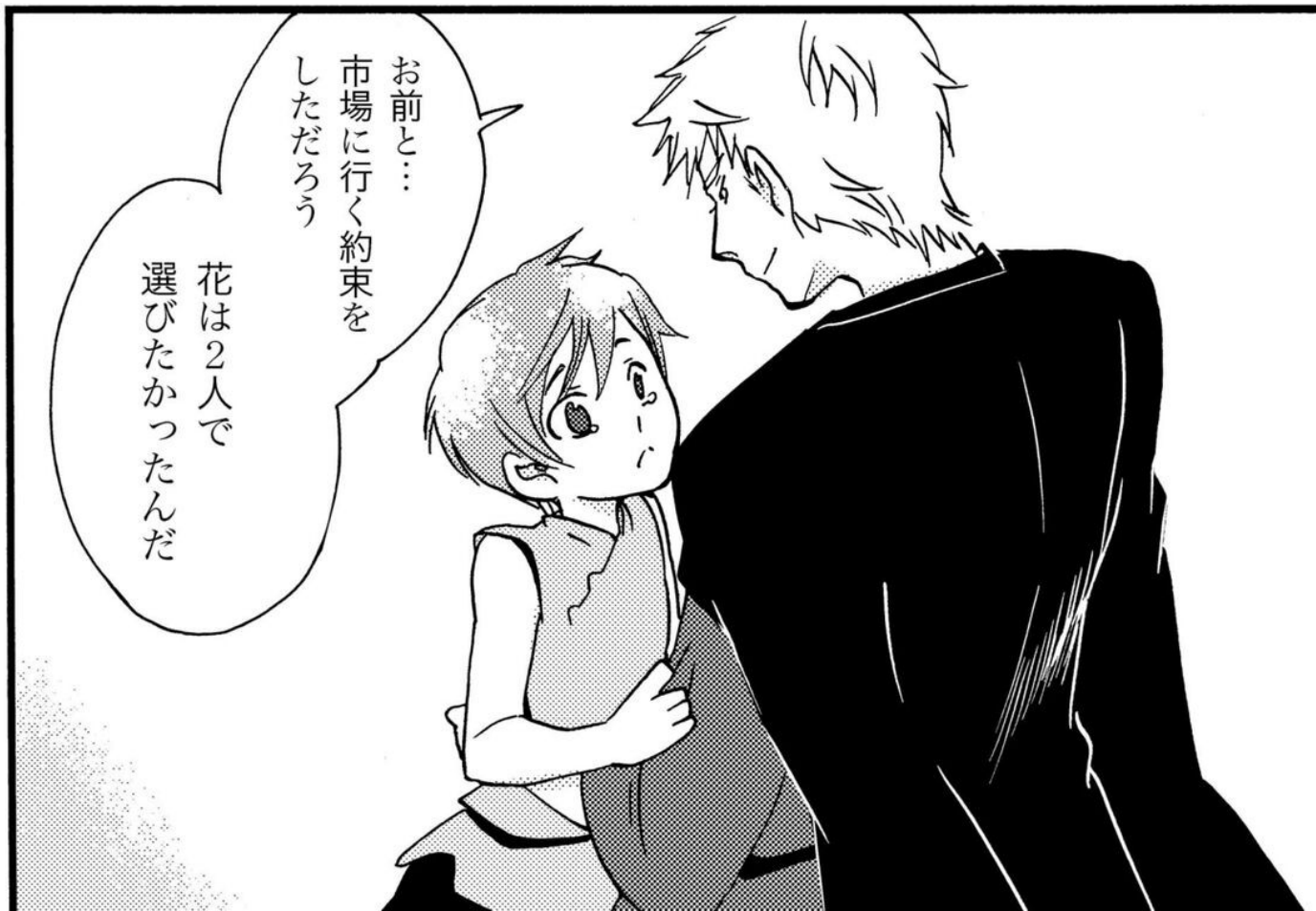
花選ぶのも  
植えるのも  
……  
ごめん…

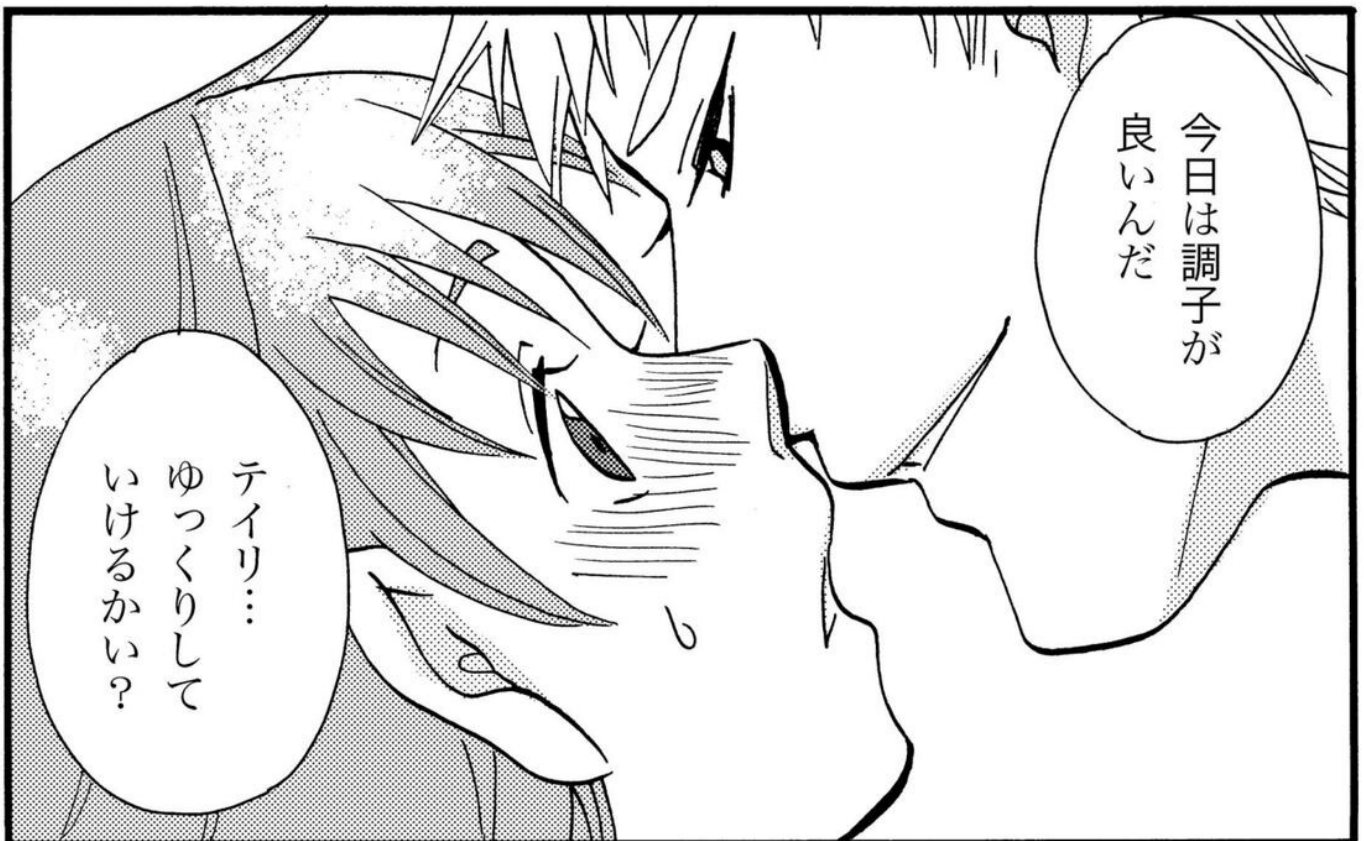
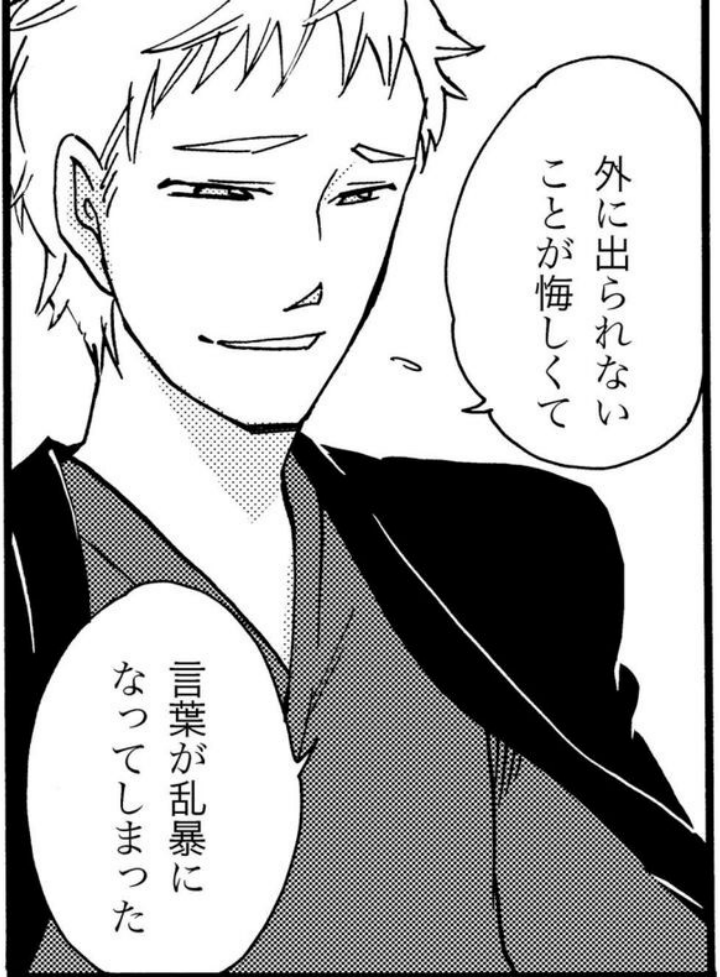


…テイリ?



ロウ様は  
オレのこと…  
顔を上げ  
なさい







ロウ様……っ

あ

と  
さ  
ん  
っ

と  
さ  
ん  
っ

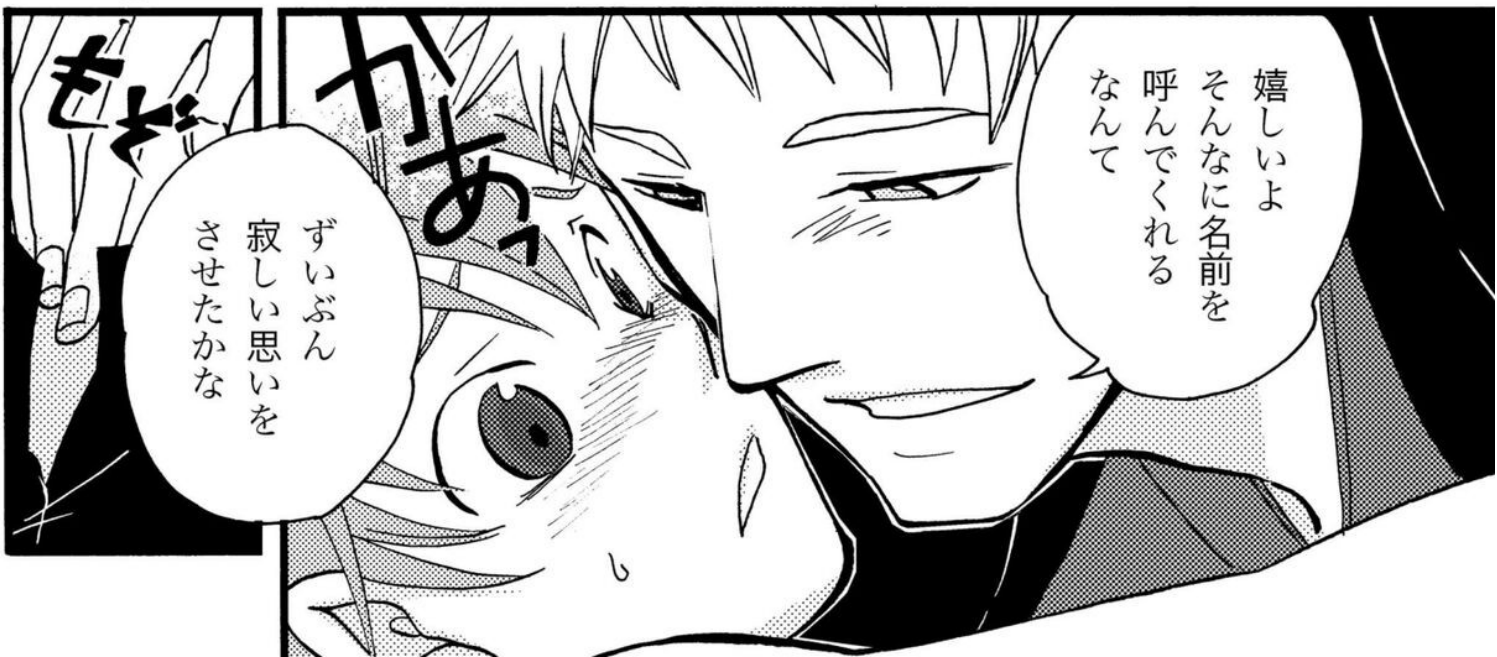
と  
さ  
ん  
っ



……様

ロウ様……

ロウ様……



嬉しいよ  
そんなに名前を  
呼んでくれる  
なんて

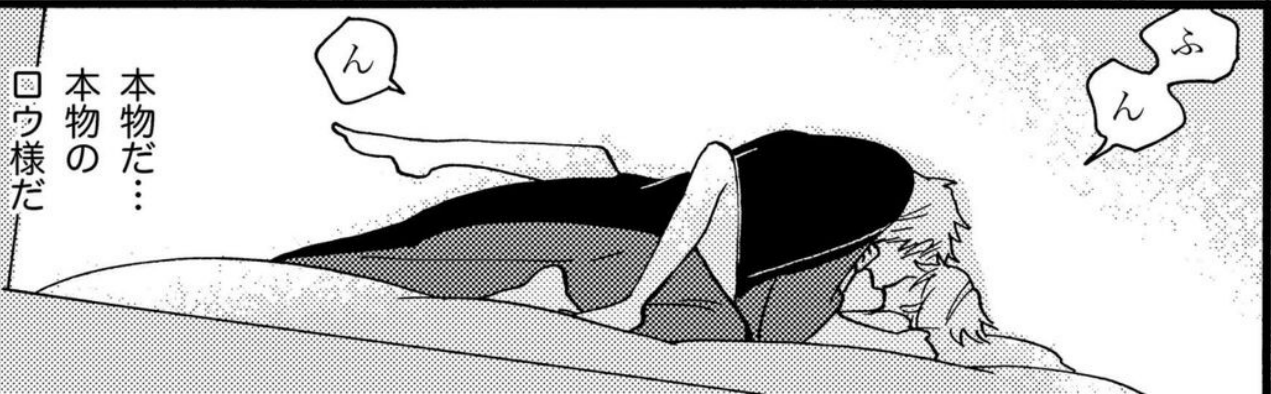
……  
ずいぶん  
寂しい思いを  
させたかな

……

……



隠さないで…  
よく見せてくれ



本物だ…  
本物の  
□ウ様だ



唇も…  
体温も…



手も…  
指も…

彼の声も…



現実だ…

ん……っ

あ……ッ



こんなに  
温かかったんだ

こんなに  
近い……

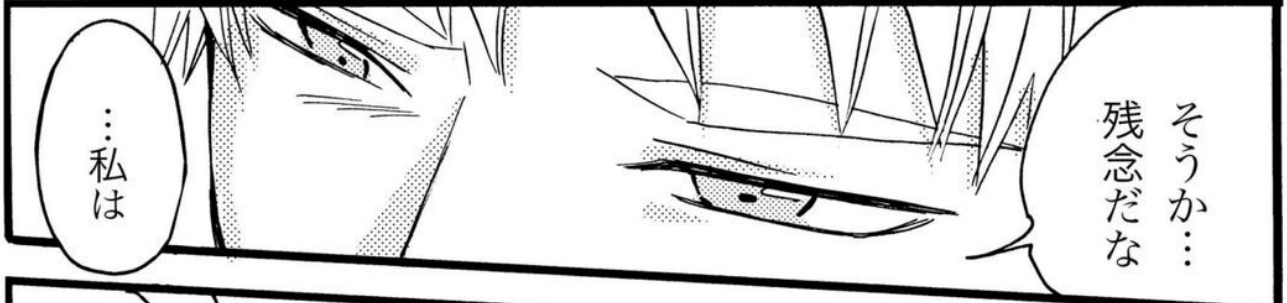


気持ちいい……

……んっ







私は

そうか：  
残念だな



お前をこうして  
抱くのを：

いつも夢に  
見ていたよ

んっ  
ふっ  
んっ



身体を開いて：  
幾度も馴らせて

あ

ざんげ  
ざんげ

テイリの泣く姿を  
想像していたよ

ひっっ

にゅっ  
にゅっ

にゅっ  
にゅっ  
にゅっ  
にゅっ



……なんて  
締めつけた



いや



わかって  
いるかい？

私の指に  
ちゅちゅと  
吸いついて  
いる……



ああ……  
早く……

や

私の中に  
植え込んで  
しまいたいよ

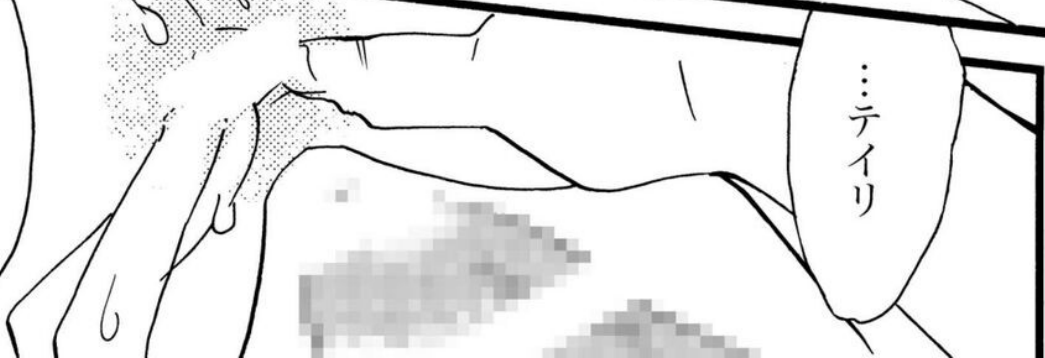


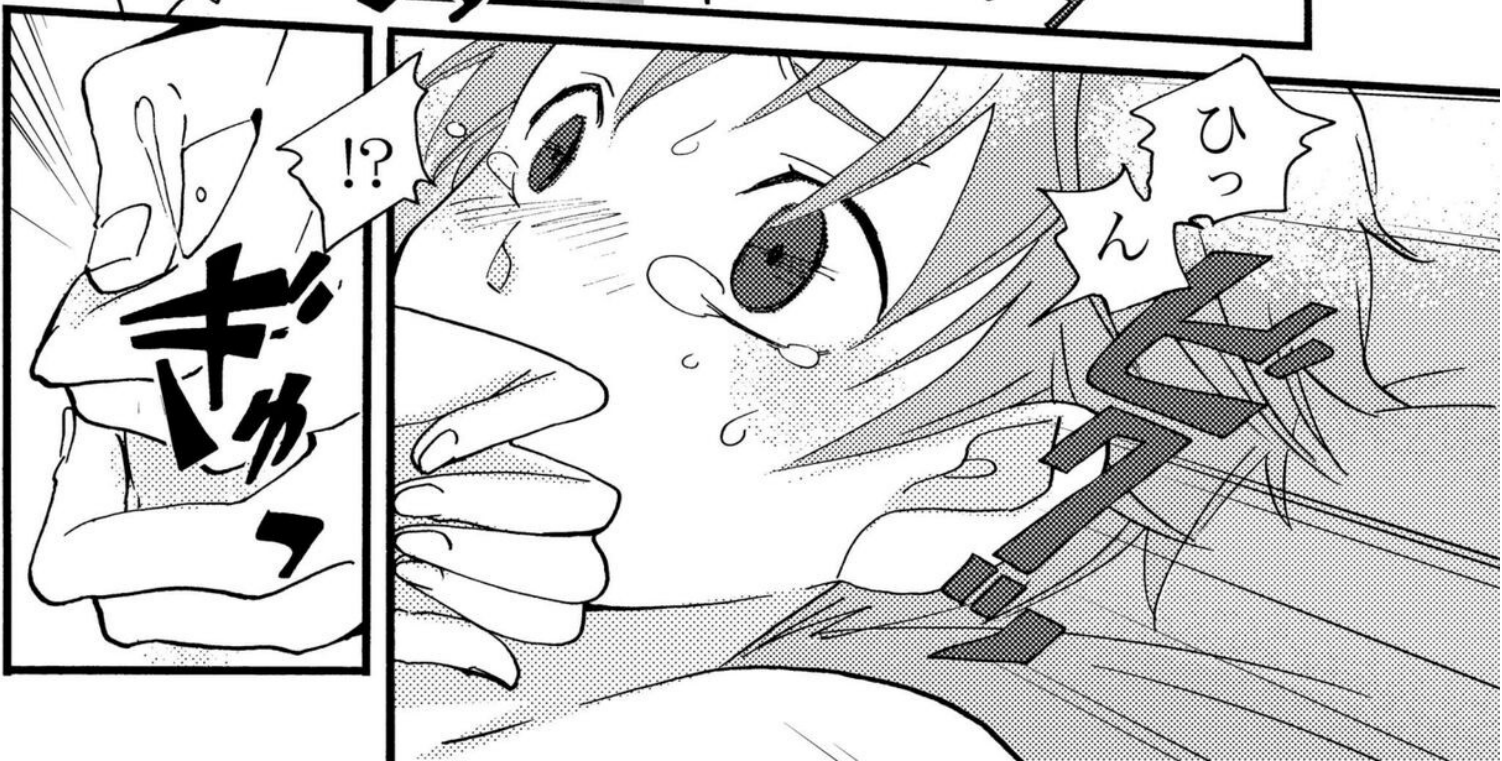
……っあ  
あ

ずいぶんと  
美味しそうに  
くわえこんでるな

あ

指の方が  
いいか？







…こんなに  
熱かったんだな  
お前の中は…

あ  
夢の中とは  
大違いだ…  
あ

ぐんぐん



…もつと  
奥深くまで  
植えてくれ

私が枯れて  
しまわない  
ように…





蜜がたつぷり  
入っていた  
ようだね…

びしょ

ほら…  
根元まで  
入った

気持ち  
いいかい？

やうん

びしょ  
びしょ

あ…あ…  
やう……ッ



…ああ  
嫌か？

ちがん

びしょ



ギョラララ



いいの  
いいの  
やめないで  
もっど



あぁ...あッ  
あ  
ひん



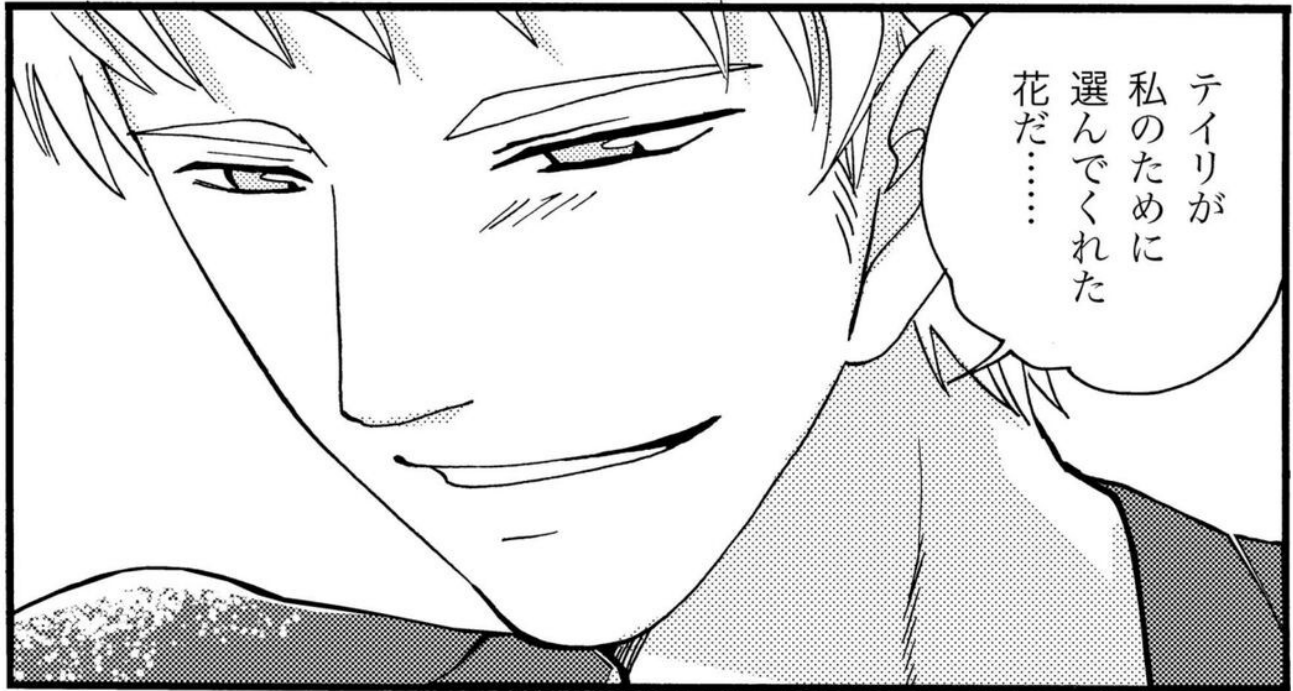
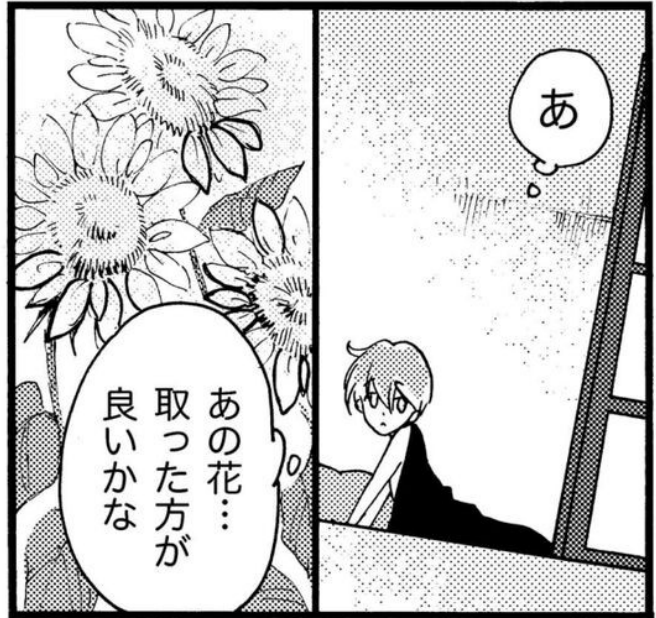
ロウ様...あッ  
ロウ様...っ  
ロウ...様っ  
ロウ様...っ



ああ...あッ

ビュッ







雨

潮だまり

の

庭

満ち潮







満ち潮